

高校生訪韓団（第3団）派遣事業の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】先端技術を専攻する高校生等を韓国に派遣し、各種視察、高校訪問等を通じた同世代との交流、講義聴講等を通じて、韓国の社会や文化に対する理解を深めるとともに、日本の魅力を広く積極的に発信することにより、今後の日韓間における相互理解の促進や信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】日本の高校生等 50 名

【訪問地】韓国（ソウル特別市・京畿道水原市・城南市・高陽市・龍仁市・果川市 50 名）

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

10 月 19 日（土）オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

■ 派遣プログラム:

11 月 3 日（日曜日）仁川国際空港より入国

11 月 4 日（月曜日）【学校訪問・交流】水原ハイテク高等学校
歓迎式

11 月 5 日（火曜日）【学校訪問・交流】ソウルロボット高等学校
【視察】現代モータースタジオ高陽

11 月 6 日（水曜日）【視察・文化体験】韓国民族村
【講義】「手で花を咲かすハングル」
【視察】ロッテワールドモール（グループ毎にフィールドワーク実施）

11 月 7 日（木曜日）【視察】国立果川科学館
【文化体験】ワールド K-POP センター
【視察】明洞（グループ毎にフィールドワーク実施）

11 月 8 日（金曜日）【視察】ソウル市庁舎、景福宮
【講義】「最近の日韓関係」、成果報告会

11 月 9 日（土曜日）仁川国際空港から出国

2. 記録写真

	
2024 年 11 月 4 日【学校訪問・交流】水原ハイテク高等学校	2024 年 11 月 4 日 国立国際教育院歓迎式
	
2024 年 11 月 5 日【学校訪問・交流】ソウルロボット高等学校	2024 年 11 月 5 日【視察】現代モータースタジオ高陽
	
2024 年 11 月 6 日【講義】「手で花を咲かすハンゲル」	2024 年 11 月 7 日【視察】国立果川科学館
	
2024 年 11 月 8 日【視察】ソウル市庁舎	2024 年 11 月 8 日【講義】「最近の日韓関係」

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 日本 高校生

水原ハイテク高等学校やソウルロボット高等学校でパートナーと会話をしたり、協力をしたりしながら仲を深められたことが良かった。直接話をしたことで、年齢の近い韓国の方が、反日などもある中、どのような考えを持っているのかを知ることができた。みんな、積極的に話しかけてくれ、とても嬉しかった。

◆ 日本 高校生

今回韓国で再会できたことが準備期間を含めてとても楽しかった。9月に日本で初めて会った時から、韓国で再会した際には「韓国語で話せるようになろうね」だとか、「このお土産を買っていくね」などというやりとりをしながら実際に再会し、さらに交流を深められることができて本当に良かった。

◆ 日本 高校生

2つの高等学校での交流において、韓国のパートナーと一緒に授業を受け、韓国の生徒の生活のリアルを見ることができたことが印象に残っている。技術系の特殊学校で、自分たちが学ぶことが出来ない分野を学べたことが良かった。

◆ 日本 高校生

現在の日本と韓国の関係をより良くしようと、様々な活動等が行われていることを知ることができた。来年には日韓正常化60周年を迎えるということを知ったので、自分たちのできる範囲で交流を深めていきたい。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 水原ハイテク高等学校関係者

韓国高校生訪日団（第3団）で鹿児島情報高等学校を訪問した際は本当に温かくお迎えいただき、生徒も私たちも今回の訪韓団の訪問を心待ちにしていた。日韓両国はさまざまな問題を抱えているが、高校生のよう若い世代が未来志向的な考えを基に友情を深めて行ってもらえれば、より良い関係を築けるのではないかと考えている。当校においても先生方との懇談の時間も設けられたため、教職員同士の理解も深まったように思う。今回このような機会をいただけたことに感謝している。

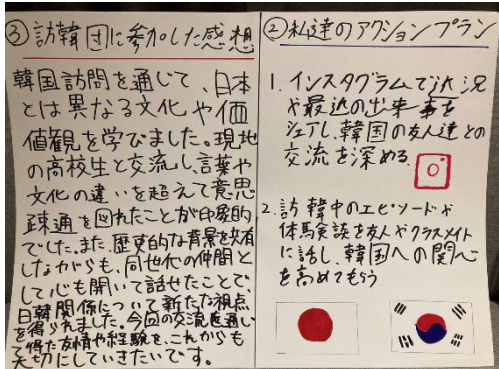
◆ ソウルロボット高等学校関係者

韓国高校生訪日団（第3団）に参加した生徒及び教員より訪日団の様子を聞き、どんな交流をさせるとより効果的なのかを考え交流日程を組み立てたのだが、生徒同士の交流が活発に行われており安心した。可能であれば来年度以降もこのような交流を続けられたらと思っており訪韓団でいらした引率の先生方に交流案についてお伝えしたが、実現に向けて努力したいと考えている。今回の交流を一度だけにとどめず、継続していきたい。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 11 いいね！: 他 今日は訪韓2日目。 朝はミールボックス。思っていたよりも味がしっかりしていてとても美味しかったです💖 さらに9月24日の訪日団で出会ったバディのいる、水原ハitek高等学校を訪問しました🇰🇷バディにはたくさん迷惑をかけてしまいましたが、体験授業や学校案内など、丁寧に英語で説明してもらいました💧🙏 写真はありませんが、韓国の伝統的な演奏をする部活動員たちの素敵な演奏を聴くことが出来ました🎵♪動きのシンクロナイズミカルな音にとってもハマりました👏 嘘発見器の作り方に繋がる組み立てや、3Dプリンタを使用するための設計方法など、印象深い体験をこなせました👏 学校給食体験はひとつのお盆に全ての食べ物を載せるスタイルでした🙄お皿を持たない韓国の文化の表れなのかなと感じました🙄本当に美味しくておかわりがしたくなりました💖	 投稿 37 いいね！: 他 11月5日 訪韓3日目🇰🇷 ソウルロボット高校の高校生と交流しました。パートナーになった人は初対面で緊張しましたが、とても優しく話しやすいかったです。昼食を食べ、学校見学へ行き、授業体験をしました。昼食中は水を飲まずに食後に水を1口飲む習慣があることを知り、日本との違いを感じました。学校内には空気清浄ロボットや学校案内ロボットがいて驚きました。授業は不正アクセスを知らせるプログラムをつくりました。私のタイピングが遅く、困っていたら代わりに打ってくれたり、エラーが出たら熱心に解決しようとしてくれたりしました。おかげで楽しく授業ができました。休み時間にはみんなでテトリス対戦を楽しんでいました。楽しい、暖かい学校でした。 11월 5일 방한 3일차🇰🇷 서울로봇고등학교 고등학생과 교류했습니다. 파트너가 된 사람은 초면에 긴장했지만, 매우 상냥하고 이야기하기 쉬웠습니다. 점심을 먹고 학교견학을 가서 수업체험을 했습니다. 점심 중에는 물을 마시지 않고 식후에 물을 한 모금 마시는 습관이 있다는 것을 알고 일 본과의 차이를 느꼈습니다. 학교 내에는 공기청정 로봇과 학교 안
2024 年 11 月 4 日（Instagram） （前略）9 月 2 4 日の訪日団で出会ったバディのいる、水原ハitek高等学校を訪問しました。バディにはたくさん迷惑をかけてしまいましたが、体験授業や学校案内など、丁寧に英語で説明してもらいました。（中略）ウソ発見器の作り方に繋がる組み立てや、3 Dプリンタを使用するための設計方法など、印象深い体験をこなせました。学校給食体験はひとつのお盆にすべての食べ物を載せるスタイルでした。お皿を持たない韓国の文化の表れなのかなと感じました。本当に美味しくておかわりしたくなりました。	2024 年 11 月 5 日（Instagram）一部抜粋 （前略）ソウルロボット高校の高校生と交流しました。パートナーになった人は初対面で緊張しましたが、とても優しく話しやすいかったです。昼食を食べ、学校見学に行き、授業体験をしました。（中略）授業は不正アクセスを知らせるプログラムをつくりました。私のタイピングが遅く、困っていたら代わりに打ってくれたり、エラーが出たら熱心に解決しようとしてくれたりしました。おかげで楽しく授業ができました。休み時間にはみんなでテトリス対戦を楽しんでいました。楽しい、暖かい学校でした。

6. 報告会での訪韓成果とアクション・プラン発表（概要または抜粋を記載する）

 ① 訪韓中に学んだこと 学校生活の違い 韓国の高校では給食が提供されるが、一般的に学生たちは一緒に食事を摂っていました。また、韓国の授業では設備が整っておりテクノロジーが積極的に活用されていました。こうした技術が授業に取り入れられていることで、知識やスキルを身に付けやすい環境になっていると感じました。 ② 韓国に学んだこと 伝統文化との触れ合い 民族村でダンスを習ったり、韓国の伝わり方と学んだことで、韓国の伝統文化に触れ、韓国の文化的価値観や生活習慣に対する理解が深まりました。また、実際の建物や音の生活音を見ることが、歴史的な背景を体験できました。 科学技術への関心 科学館でロボットやAIに関する展示を見たことは、韓国が科学技術の分野に進化していることへの理解を深める機会となりました。特に韓国は、最新のIT分野においては目を集めているので、興味をもちました。 韓国のトレンド ミョンドンでの買い物やK-POPダンス体験を通じて、韓国の若者文化や流行に触れ、日本の違いを感じました。	 ② 訪韓団に参加した感想 韓国訪問を通じて、日本とは異なる文化や価値観を学びました。現地の高校生と交流し、言葉や文化の違いを超えて意思疎通を図れたことが印象的でした。また、歴史的な背景を共有しながら、同世代の仲間として心も開いて話せたことで、日韓関係について新たな視点を得ることができました。今回の交流を通じて得た知識や経験も、これからは大切にしていきます。 ③ 私達のアクションプラン 1. インスタグラムで交流や最近の出来事や、韓国の人々との交流を深める。 2. 訪韓中のエピソードや体験談を、友人やクラスメイトに話し、韓国への関心を高めてもらう。
【成果の発表】 ・ 学校訪問（2校）では、訪日団として私たちの学校を訪問した学生たちと再会し、彼らと一緒に韓国の学校生活を体験できたことで、より韓国について理解することができた。 ・ 韓国の高校生と交流し、言葉や文化の違いを超えて意思疎通を図れたことが印象的だった。また、歴史的な背景を共有しながらも、同世代の仲間として心も開いて話せたことで、日韓関係について新たな視点を得ることができた。 ・ 韓国の伝統文化に触れ、韓国人の文化的価値観や生活習慣に対する理解が深まった。 ・ 想像で決めつけるのではなく、実際に歴史や文化に触れて知ることが相互理解に繋がることを学んだ。 【アクション・プラン】 ・ 交流の様子をまとめた動画を作成し、発表する。 ・ 訪韓を通じて学んだこと（ロボット作成やプログラミング）についてより深く調査する。 ・ 「日韓両国の学生の相互理解」を目標に、ポジティブな体験や共通点、文化や歴史へのリスペクトなどを広く発信する。	【成果の発表】 ・ 訪韓前は韓国人の方たちは日本に対し良い感情を持ってない人が多数と思っていたが、実際に交流してみると。日本に対し興味関心を示してくれる人が多かった。 ・ 日韓両国の人々が直接触れ合い交流することで、偏見や誤解が解消され、友好関係が築かれることを実感した。 ・ 訪韓前は韓国の人たちは雰囲気怖く、日本のことをよく思っていないと思っていたが、韓国に来てみると韓国の人たちは優しく、誰もが日本に対し悪い印象を持っているのではないことを知った。 ・ コミュニケーションを積極的にとることの大切さを学んだ。 【アクション・プラン】 ・ 今回出会った人々との交流を積極的に続ける。 ・ 訪韓中のエピソードや体験談を、友人やクラスメイトなどに話し、韓国への関心を高めてもらう。 ・ 日本と韓国の文化について短い動画にまとめ発信し、互いの国への理解を深め、より良い日韓関係構築を目指す。

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金